



へきけんニュース

令和 2年 4月 6日発行 第72号

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292

全国へき地教育研究連盟と連携した情報交換を相互に推進することになりました。

へき地・小規模校教育研究センターでは、全国へき地教育研究連盟と連携して、相互に情報交換を推進することになりました。へき地・小規模校の学校現場の連合組織である全国へき地教育研究連盟と全国の大学のネットワークを有するへき地・小規模校教育研究センターが連携することによって、学校現場の実践的な情報と研究的な情報をより有効に交流することができます。全国へき地教育研究連盟は、全国都道府県のへき地教育研究大会や研究会を把握しており、全国へき地教育研究連盟の研究会情報を全国に共有するだけでも、各地域の様々な研究・実践情報を把握することができます。

また、全国へき地教育研究連盟へは個人で直接加入することもできます。毎年300円の会費を払うと会員になれます。また書籍も販売されていますので、各自でお申し込み下さい。ご案内は、別紙にて記載しております。

今後は、北海道教育大学だけでなく、日本教育大学協会全国へき地・小規模校教育部門会員へも、全国へき地教育研究連盟を中心とした、全国的な研究会や研究実践の情報をお知らせすることができます。

全国へき地教育研究連盟の柿崎秀顕委員長から、メッセージを頂きました。

大学関係者の皆様への御挨拶

全国へき地教育研究連盟 会長 柿崎 秀顕
(洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校長)

大学関係のみなさまおかれましては、日頃より本研究連盟の事業推進に対しまして、ご理解とご協力、そして多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、全国へき地教育研究連盟は、昭和27年に結成され、この年の第1回全国大会から令和元年の第68回大会までを文部科学省との合同主催で行ってきており、「へき地教育研究の草分け」的存在です。任意教育団体ではありますが、「へき地教育振興法」を背景に現在全国に約3200校ある、へき地・複式・小規模校の小中学校とその教員を会員とし、各都道府県の教育研究活動を支援し、各学校の指導法充実をはかり、へき地における教育の振興を目的として研究活動を続けています。



全国へき地教育研究連盟
会長 柿崎 秀顕 氏

私は28代目の会長で、この春に3年目をむかえますが、就任以来ずっと意識してきた活動（キーワード）が三つあります。

その一つ目が「繋ぐ」

例えば、大学ではへき地教育を研究している先生がおり、教育行政には教職員の資質を高めるための研修講座等を開催する研究所なるものがあります。各県教委開催の研修講座に大学の先生が講師として招かれることはよくあることですが、その研修講座に「参加者募集・集約」という面で関わりをもてたら、それぞれが単独で開催するよりも多くの成果が得られると考え、大学が開催するフォーラムや県教育研究所の開催する研修講座に積極的にかかわってきました。



H30.11.17 へき地・小規模校教育推進フォーラム
(北海道教育大学釧路校)



令和元年度第35回
東北地区へき地教育研究大会 秋田

二つ目が「広める」

それは、ホームページの充実です。私たちの機関誌「全へき新聞」が休刊となり、その機能を会員ホームページに集約したことがきっかけとなり、各ブロック各県の研究成果を広く全国に発信したり、役員が足を運んだ研究大会のバックグラウンド情報を紹介するなど、会員相互のコミュニティの場の充実に力を入れてきました。

最後の三つ目が「埋める」

それは、困ったときの知恵袋となるべく活動相談の充実です。全へき連の先輩たちは、多くの成果を残していますが、副会長の立場となる7ブロックの理事たちは、毎年のように交代し、大会準備や運営にかかわって

ては、人が替わるがゆえの同じ失敗を繰り返しているように見受けられます。それらの失敗を最小限になるよう全へき連OBの方々の力をお借りして、全国大会やブロック大会の活動相談をしてきました。

以上、本研究連盟の活動の一端を紹介させていただきましたが、全国には山間や海辺に多くの小さな学校が散在し、そこそこでは熱い思いで教師と子どもたちが生き生きとした教育活動を進めています。

小規模校の良さや特性を生かし、地域に根ざした教育を進める学校の教育実践研究は今後ますます必要となってきます

この機会をきっかけに、教育に携わる大学関係の皆さまとこれまで以上に交流を持ち、本研究連盟の活動がより充実したものとなるようご支援いただければ幸いです。



北海道へき地・複式教育研究連盟・定期総会
(柿崎先生：右から4番目)

「全国へき地教育研究連盟」をご存じですか？

◎本連盟の目的

各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関団体との連携を密にして、へき地学校・小規模学校・複式学級を有する学校、分校等の教育の充実を図り、へき地教育の振興を目的とする。

◎本連盟の事業

- 1 教育研究大会：全国大会(毎年1回)主催、ブロック大会(全国7ブロック)共催
- 2 研究・調査：研究推進協議会開催、実践事例集・基本調査・研究推進計画発行
- 3 情報交換等：ホームページ、会員用ホームページの作成・更新
- 4 教育条件整備：文科省・各都道府県教育長へ「要望書」の提出

◎令和元年度～令和5年度 研究主題

「ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成

～へき地・複式・小規模校の特性を生かした

学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～」



全国大会の様子（開会式 ・ 分散会 ・ 分科会【授業公開校】）

令和元年度版 実践事例集)「明日への道標」内容例

第1章 学校・学級経営の深化・充実

実践事例Ⅰ 少人数の良さを生かすための児童の実態把握

実践事例Ⅱ 小規模校の特性を生かし、小中で学びをつなぎ、ふるさと学習・協調学習の取組を通して授業改革を行い、主体的な学びを育む

実践事例Ⅵ 少人数・複式学級のよさを生かした道徳の授業づくり

第2章 学習指導の深化・充実

実践事例Ⅱ 小規模・少人数を生かして基礎学力を身に付ける指導計画

実践事例Ⅵ 振り返りシート・自主学習ノートを活用した家庭と学校の学びのサイクル作り



問合せ先 全国へき地教育研究連盟 事務局 (担当：渡辺)
TEL 03-3580-0571
FAX 03-3503-3616

『明日への道標』
(過年度分の在庫有り)

令和2年度 全国へき地教育研究連盟 全国大会・ブロック大会日程一覧

ブロック	開催地	大会名	日程
全国	富山・富山市他	第69回 全国へき地教育研究大会 富山大会	10月8日(木) ～9日(金)
北海道	北海道・檜山地区	第69回 全道へき地複式教育研究大会 檜山大会	9月24日(木) ～25日(金)
東北	青森・深浦町他	第36回 東北地区へき地教育研究大会 青森(深浦)大会	10月1日(木) ～2日(金)
関東・ 甲信越	2年度は休止		
東海・北陸 (全国大会)	富山・富山市他	第34回 東海北陸地区へき・複式・ 小規模学校教育研究大会 富山大会	10月8日(木) ～9日(金)
近畿	和歌山・有田川町他	第35回 近畿へき地教育研究大会 和歌山大会	11月12日(木) ～13日(金)
中国・四国	2年度は休止		
九州	佐賀・佐賀市他	第66回 九州地区へき地・小規模校教育 研究連盟研究大会 佐賀大会	10月15日(木) ～16日(金)
<p>※ 詳しい情報は全へき連のホームページで http://www.zenhekiren.net/</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 10px; border-radius: 5px;">検索</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 10px; border-radius: 5px;">全へき連</div> </div> </div>			

各 位

全国へき地教育研究連盟
会 長 柿 崎 秀 顕

全国へき地教育研究連盟 準会員のご案内について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

全国へき地教育研究連盟は、昭和27年に結成されこの年の第1回全国大会から令和元年の第68回大会までを、文部科学省との合同主催で行ってきた「へき地教育研究の草分け」的存在です。任意教育団体ではありますが、「へき地教育振興法」を背景に現在全国に約3,200校ある、へき地・小規模・複式学級を有する小中学校とその教員を会員とし、各都道府県の教育研究活動を支援し、各学校の指導法充実をはかりへき地における教育の振興を目的としています。

この度、へき地教育のさらなる充実を図るため、教育に携わる大学関係・附属学校教員の皆さまにへき地教育の実際をご理解いただきたく、本連盟の「準会員」のご案内をいたします。準会員として登録されると、本連盟ホームページ「会員専用ページ」を閲覧することができ、また本連盟が編纂し会員に実費頒布している「実践事例集」その他刊行物（別紙資料を参照・一般販売はしていません）を購入することもできるようになります。へき地・複式・小規模校教育の資料として、大変有益な研究事例集です。

本連盟の活動に賛同され準会員を希望される学校は、年会費として300円を拠出していただきます。「準会員・図書購入希望申込書」に必要事項を記入の上FAXしてください。また、実践事例集その他本連盟刊行物も同時に希望される学校は「準会員・図書購入希望申込書」に希望図書も一緒に記入しFAXしてください。折り返し「準会員証」と「振込用紙」を送付いたします。その際、本連盟ホームページ（「全へき」で検索）内の「会員専用ページ」を閲覧するパスワード（令和元年度用6月まで有効）もお知らせいたします。

是非よろしくお願いたします。

全国へき地教育研究連盟（事務局）
〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-13
全日本中学校長会館内
TEL 03-3580-0571 FAX 03-3503-3616
E-mail zenheki0571@topaz.ocn.ne.jp
お問い合わせ先 事務局長 渡辺 徹

全へき連刊行図書 在庫一覧（R2.3.3現在）

年度	シリーズ名	題名	残部数
平成13年	21世紀を拓く教育シリーズⅣ	ふるさと発「生きる力を育む」共育の創造	12
平成15年	新しい時代を拓く心の共育シリーズⅠ	生きる力・確かな学力を育む共育の在り方	22
平成16年	新しい時代を拓く心の共育シリーズⅡ	ふるさとに立ち、たくましく生きる力を育む共育の在り方	14
平成17年	新しい時代を拓く心の共育シリーズⅢ	個性を生かし、確かな学力を育む共育の在り方	21
平成18年	新しい時代を拓く心の共育シリーズⅣ	家庭・地域社会と共に豊かな子どもの心を育む共育の在り方	32
平成23年	平成23年度版 実践事例集	輝く！ひとみ	97
平成24年	平成24年度版 実践事例集	ふるさとからの学び	69
平成25年	平成26年度版 実践事例集	明日を拓く	68
平成26年	平成27年度版 実践事例集	故郷からの風	60
平成27年	平成28年度版 実践事例集	未来への創造	78
平成28年	平成29年度版 実践事例集	ともに紡ぐ	82
平成29年	平成30年度版 実践事例集	豊かな学びの継承	113
平成30年	平成31年度版 実践事例集	明日への道標	販売中

全へき連刊行図書 在庫一覧（R2.3.3現在）

※ 価格は全て 2,000円

準会員・図書購入希望申込書

準 会 員 (○印記入)		準 会 員 費	合計金額(会員費・図書)
		300円	円
図 書 名	冊 数	単 価	合 計 金 額
		2,000円	円
		2,000円	円
		2,000円	円

フリガナ	
学校・団体名	
フリガナ	
代表者氏名	
送付先住所	〒 ー 都 道 府 県
電話番号	

連絡事項
※ 公費対応の場合、見積書や日付等の要・不要、請求者名が異なる場合等を記入

申し込み・問合せ先 全国へき地教育研究連盟事務局(担当：渡辺)
 TEL 03-3580-0571 FAX 03-3503-3616

北海道教育大学と「北海道へき地・複式教育研究連盟」 との情報交換・共同研究を期待して

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 古田 統
(二セコ町立近藤小学校長)

北海道へき地・複式教育研究連盟に携わる我々の使命は、へき地・複式教育における実践力の向上にあり、これまで培ってきた北海道のへき地・複式教育の財産を土台に、各地区の実践研究を積み重ね、加盟校同士がしっかりと手を取り合いながら充実、発展に事業を推進していくことにあります。それを実現すべく、本連盟の2大事業でもある全道へき地複式教育研究大会、全道へき地複式教育研究大会プレ大会を開催しているところで、令和元年度はそれぞれ空知大会、檜山プレ大会として開催され、多くの優れた実践の公開、交流と活発な討議がなされました。



北海道へき地・複式教育研究連盟 古田 統氏

一方で、北海道のみならず全国のへき地・複式校を取り巻く現状は過疎化・少子化・学校の統廃合といった厳しさの中にあります。しかし少子化・小規模校化の中ではむしろへき地・複式校にこれからのモデルとなるべき要素が多く含まれていると考えます。新学習指導要領の趣旨「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」などの実現が求められているなか「きめ細やかな少人数指導」「教師と児童生徒との密接な信頼関係」「地域と連携した学校経営」など、へき地・複式校が過去70年にわたって積み重ねてきた手法や理論研究、実践は大きな財産です。

こういった中で、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターや日本教育大学協会へき地・小規模校教育部会をはじめ、近い将来は、へき地・複式・小規模校教育に興味をもつ方々（団体）とも連携し、「へき地・複式・小規模校にこれからの教育の展望がある」の理念を共有しながら実践面、研究面での情報交換がなされることは本連盟の研究の深化・充実にとっても大変有効なものになると期待するところであります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



全道へき地・複式教育研究大会



全道へき地・複式教育研究大会

なお、本連盟の令和2年度研究大会は以下の日程で開催されます。関係の皆様のご参加をお待ちしております。

令和2年度研究大会

◎第69回全道へき地複式教育研究大会檜山大会

9月24日(木) 全体会・分散会《江差町》

25日(金) 分科会《3分科会：上ノ国町・乙部町・今金町》

◎第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツクプレ大会

9月18日(金) 分科会《6分科会：北見市・湧別町・佐呂間町・
滝上町・雄武町》



研究大会の様子

お知らせ

へき地・小規模校教育研究センター構成員 退任のお知らせ

へき地・小規模校教育研究センターにてセンター員を務めていただいた旭川校センター員 小出 高義 先生、函館校キャンパス代表センター員 根本 直樹 先生のお二人と、平成31年3月から札幌校でへき地教育アドバイザーとして務めていただいた、武岡 和廣 先生が、令和2年3月31日をもってご退任となりました。本学のへき地教育の発展に、ご尽力いただきました。これまで大変ありがとうございました。



旭川校へき研センター員
小出 高義 先生



函館校キャンパス代表
センター員 根本 直樹 先生



札幌校へき地教育
アドバイザー 武岡 和廣先生